

地域で一番信頼される金融機関をめざして…



日本武尊(やまとたけるのみこと)

開羽雲長(かんうんちよう)

とちぎ秋まつり

当金庫のシンボルマーク



栃木信用金庫

赤は、地平線より昇る真っ赤な太陽を表し、この太陽は明日に向かうことを意味し、また血の通った人間同士のお付き合いをいつまでも続けたいとの願いを込めております。両側のとちしんカラーのオレンジは、地域とそこに生活する人々を表し、地域や人々が暖かな希望に溢れた毎日を送れるようにとの願いが込められております。中央の白は、栃木信金の頭文字の“T”をイニシャルライズしており、この白が清潔潔白に公正に事業を遂行して行こうとの決意の表明であります。

CONTENTS

- | | | | |
|----|-----------------------|----|-------------|
| 2 | ごあいさつ | 12 | 商品・サービスのご案内 |
| 3 | 経営理念と基本方針 | 13 | 経営管理態勢 |
| 5 | 業績ハイライト | 15 | 総代会 |
| 8 | 新中期経営計画 お客様サポートプロジェクト | 16 | 組織図・あゆみ |
| 9 | とちしんの取り組み | 17 | 店舗・ATMのご案内 |
| 10 | 地域社会への貢献 | | |



■資料編等については当金庫ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



ごあいさつ



平素は、栃木信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、令和4年度の「**とちしん**」の経営状況を開示したディスクロージャー誌を発行いたします。

昨年は、ウィズコロナの下で経済再開が急速に進む中、緊迫する世界情勢等の影響が加わり、世界の経済環境が大きく変化した年でありました。このような状況の下、当金庫では3ヶ年中期経営計画「**お客様サポートプロジェクト**」をスタートさせ、新型コロナウイルスや資源・物価高の影響を受けているお客さまの資金繰り支援に注力するとともに、「お客さまの役に立つ行動の実践」を最大の目標に掲げ、多様化するお客さまのニーズに柔軟にお応えする行動に邁進してまいりました。その結果、事業性融資、消費者ローンともに貸出残高が増加するなど、事業者の皆さまの経営活動や個人の皆さまの生活をサポートするための行動の成果が実績として表れております。

令和4年度の業績につきましては、預金積金は期末残2,752億円（前期比△35億円）、貸出金は期末残1,251億円（前期比+28億円）となりました。また、経常利益は△14百万円、当期純利益は177百万円、自己資本比率は5.60%となりました。

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだものの、足下では内需の持ち直し、インバウンドの回復で個人消費を中心に緩やかながら回復傾向にあります。しかし一方で、これまでの長期に渡るデフレから一転、インフレの顕在化や賃金の高まりを受け、地域の事業者や個人のお客さまの環境は大きく変化しております。当金庫におきましては、中期経営計画「**お客様サポートプロジェクト**」の目標達成に向け、多様化するお客さまからの期待される役割を十分に発揮することで、信用金庫の使命を全うし、皆さまと共に地域経済の再活性化への機運を盛り上げるべく活動し、続けてまいります。

今後とも引き続きまして、「**とちしん**」へ一層の支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

理事長 **伏木昌人**

